

福島第一原子力発電所現地確認報告書

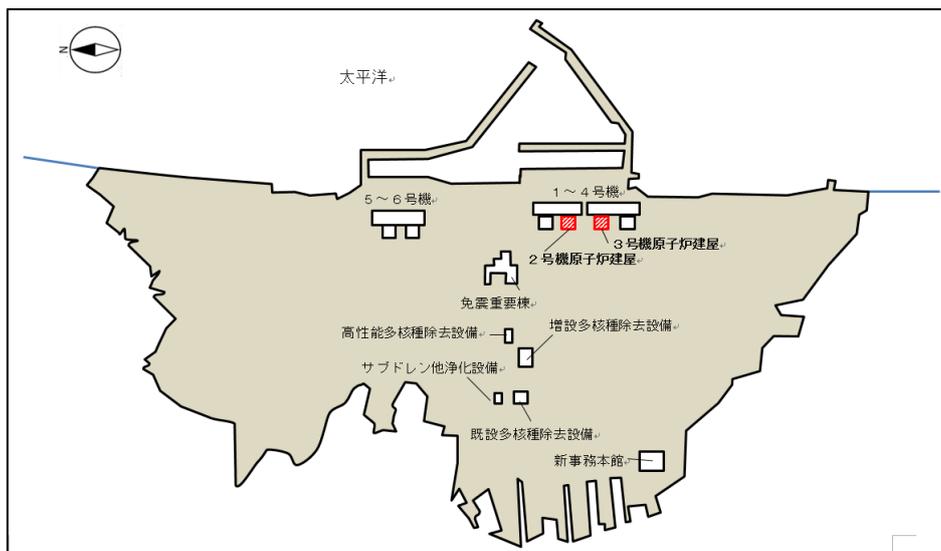
- 1 確認日
令和5年6月8日（木）
- 2 確認箇所
2号機及び3号機原子炉建屋地震計
- 3 確認項目
2号機及び3号機原子炉建屋における地震計の設置状況

4 確認結果の概要

東京電力では、1～3号機原子炉建屋の建屋健全性評価の取組の一環として、2、3号機原子炉建屋の1階及び5階オペレーティングフロアに地震計を設置し、建屋全体の経年変化の傾向把握等を目的とした観測を継続的に実施している（3号機：令和3年3月19日運用開始 2号機：令和4年3月31日運用開始）。

このたび、1号機原子炉建屋1階床レベルへの地震計の設置が完了し、3月26日に運用が開始されたが、1号機原子炉建屋1階の地震計設置にあわせて、2号機及び3号機原子炉建屋の地震計をMEMS（微小電気機械システム）型加速度センサ（無線通信方式で収録装置一体型地震計）からサーボ型加速度センサ（有線通信方式でデータ収録装置を別に設ける地震計）に更新されたことから状況を確認した。（図1）（前回確認日：[令和3年10月5日](#)（3号機原子炉建屋1階地震計）[令和4年4月20日](#)（2号機原子炉建屋1階地震計））

- ・1階床レベルの地震計は、2号機及び3号機原子炉建屋1階西側屋外のコンクリート基礎（高さ約1m）に設置されており、それぞれ2台の地震計がケースに収納されている。（写真1）
- ・地震計の収納ケースには、雨水の浸入及び小動物の侵入が可能な隙間や亀裂等は認められなかった。（写真2）
- ・東京電力によると、2号機及び3号機の地震計は、これまで2号機及び3号機原子炉建屋に設置されていた収録装置一体型の無線通信方式より信頼性のあるデータ収録装置を別に設置する有線通信方式に変更したとのことであった。なお、2号機及び3号機の地震計のデータ収録装置は、2号機及び3号機原子炉建屋西側にある2号機及び3号機SFP（使用済燃料プール）循環冷却設備現場コンテナの中に設置されている。（写真3）



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)
2号機地震計(1階)の設置状況
(南西側から撮影)
※赤丸印のケースの中に2台の地震計が
収納されている。



(写真1-2)
3号機地震計(1階)の設置状況
(北側から撮影)
※赤丸印のケースの中に2台の地震計が
収納されている。



(写真2-1)
2号機地震計(1階)の設置状況
(北西側から撮影)



(写真2-2)
3号機地震計（1階）の設置状況
（北側から撮影）



(写真3-1)
データ収録装置が設置されているコ
ンテナ（2号機）の状況（南西側か
ら撮影）



(写真3-2)
データ収録装置が設置されているコ
ンテナ（3号機）の状況（北西側か
ら撮影）

- 5 プラント関連パラメータ等確認
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。